

BOOK REVIEW

理論とゴロ合わせて ゆる〜く覚える配合変化

著：相澤 学（公立学校共済組合関東中央病院薬剤部 部長）

本書は「月刊薬事」誌で連載された内容を中心に、読みやすさや楽しさなどをコンセプトとしてまとめられた書籍である。それぞれの章（話）で、ある注射剤の配合変化が紹介され、その特徴を覚えるためのゴロ合わせが提示される形で話が進行していく。多少強引と思われるゴロ合わせもないではないが（笑）、それはご愛敬の範囲内である。

本書の特徴の一つとして各章の終わりに必ず「雑談」が組み込まれている。著者はヘビーメタル好きとのことであるが、そのような話題を絡めた「雑談」はとても興味深く、読む者を飽きさせない。個人的にはドラえもんやブラックジャックなどわれわれ昭和生まれ世代にとってもなじみやすい素材が取り上げられているのも嬉しい限りである。

本書を初めて手に取ったとき、そのタイトルや表紙のデザインからして、いかにも注射剤の配合変化やその覚え方についてゆる〜く羅列的に紹介されていそうな第一印象を受けたのは確かである。しかしながら、本書を読み進めるにつれて、実は随所に著者の豊富な知識や経験に基づいた学術的な解説が的確に散りばめられていることに気づく。各章（話）で取り上げられている配合変化も適切に選択され、かつバラエティに富



四六判／252 頁

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10％）

発行：じほう（2022 年 9 月）

んでおり、読み手に受け入れられやすい質および量であると思われる。

学生や若手薬剤師はもちろん、薬剤師としてある程度の経験を積んだ方々にとってもその知的好奇心を満足するに充分な書籍の一つであるといえるだろう。

帝京平成大学薬学部物理薬剤学ユニット 教授 山本 佳久